

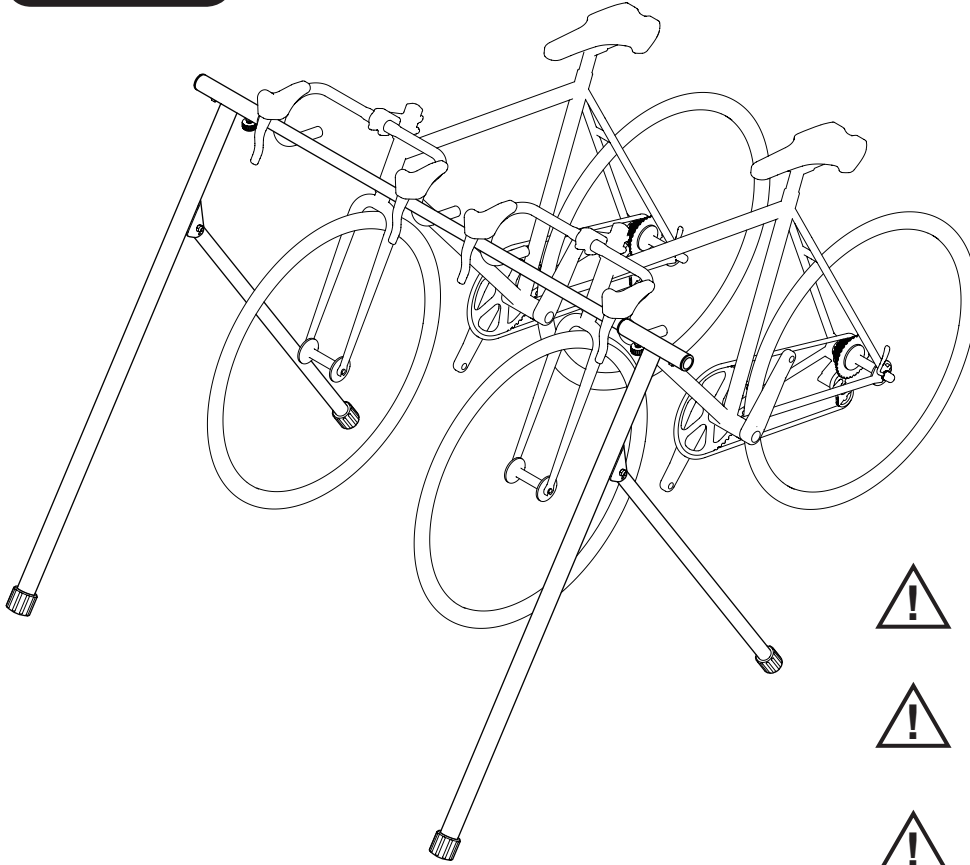
従来のサドル先端をバーに載せて使うのではなく、ドロップバーのブレーキレバー部分をバーに掛けることで、強風下では自転車がぐらぐらと揺れて予期せずバーから外れて転倒してしまうことが防げる、安定性重視のドロップバー専用モデルです。

品質保証期間：ご購入後1年間

弊社は、本商品を最初に新品で購入されたユーザーに限り、メーカー側に瑕疵のある製造方法や素材選択などが原因となる不具合に対して、無償の修理または部品の交換を行いません。なおこの保証には通常考えられる経年劣化や自然摩耗、退色やサビなどは含まれません。詳しくは添付の「製品保証規定」カードをご覧ください。また最新情報については弊社ウェブサイトをご参照ください。

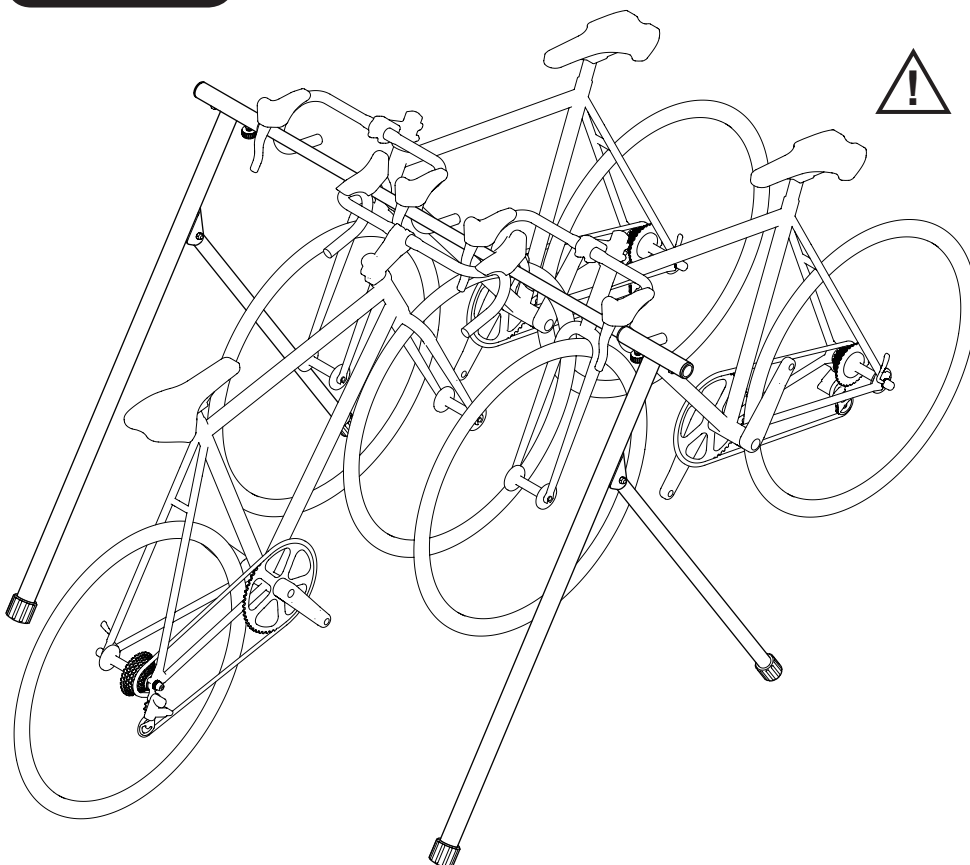
使用例①

同じ側に2台掛けた場合



使用例②

互い違いに3台掛けた場合



注意していただきたいこと



安定した使用のため、脚はしっかりと広げ、必ず水平で平坦な場所に設置してください。



ぶら下がったり物を乗せたり、自転車保持以外の目的には使用しないでください。

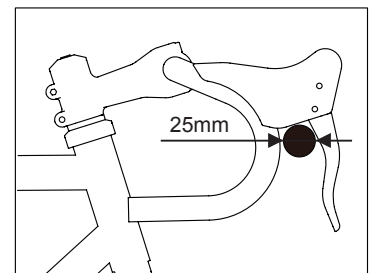


バーは鉄製ですので、乱雑に自転車を掛けると、ブレーキレバーやハンドルバーが傷つく恐れがあります。静かに取り扱ってください。



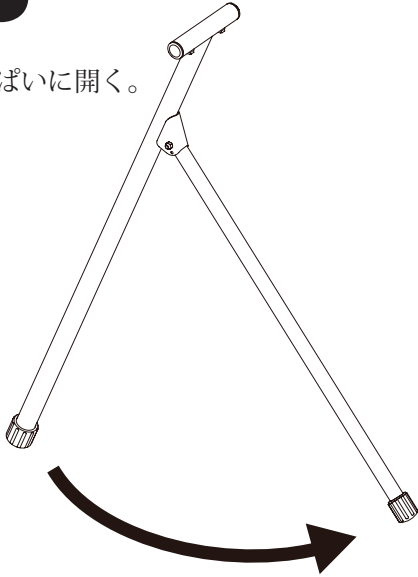
ハンドルバーとブレーキレバーとの間の奥までしっかりと、直径25mmのパイプが入るもののみ使用できます。一部のレバーにおいては、レバーが太過ぎたりシフト用ボタンが飛び出していたりしてこのスペースが確保できず、使用できない場合もあります。

バーが引っかかる場合は、無理に押し込んだりして使わないでください。万一破損したとしても弊社ではその責を負いかねます。

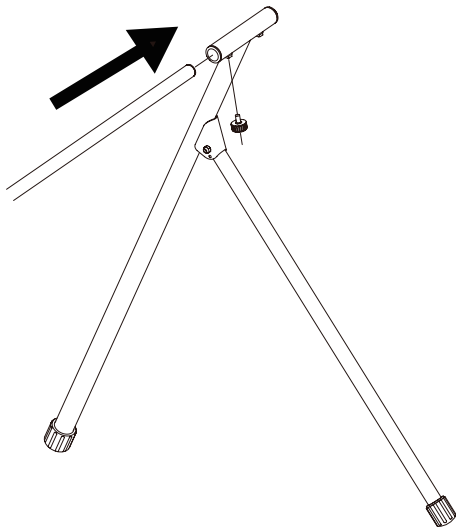


組み立て方

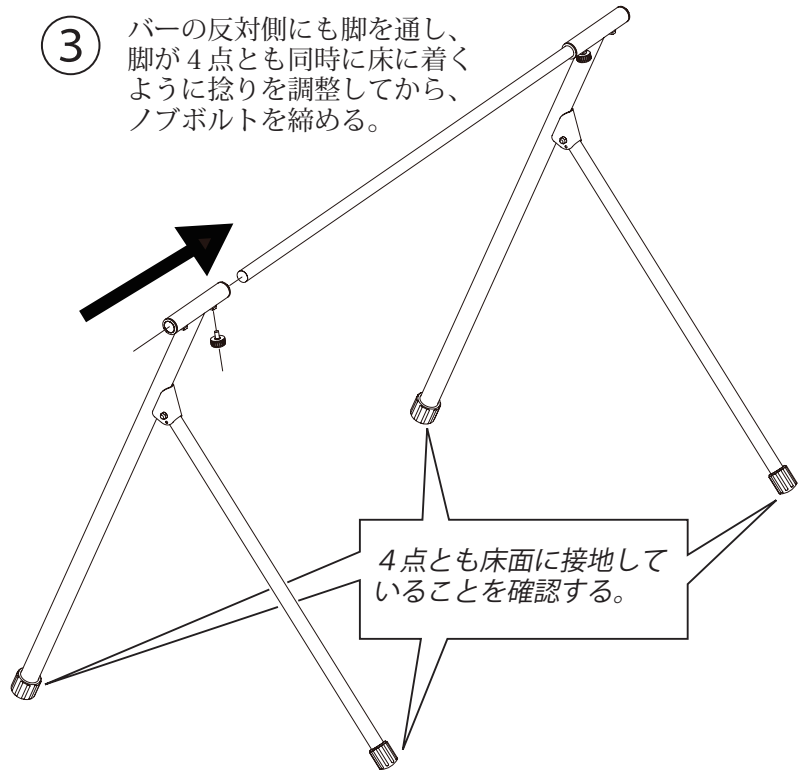
① 脚をいっばいに開く。



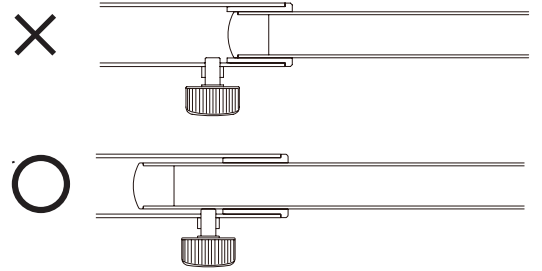
② バーを十分に挿入し
ノブボルトを締める。



③ バーの反対側にも脚を通し、
脚が4点とも同時に床に着く
ように捻りを調整してから、
ノブボルトを締める。



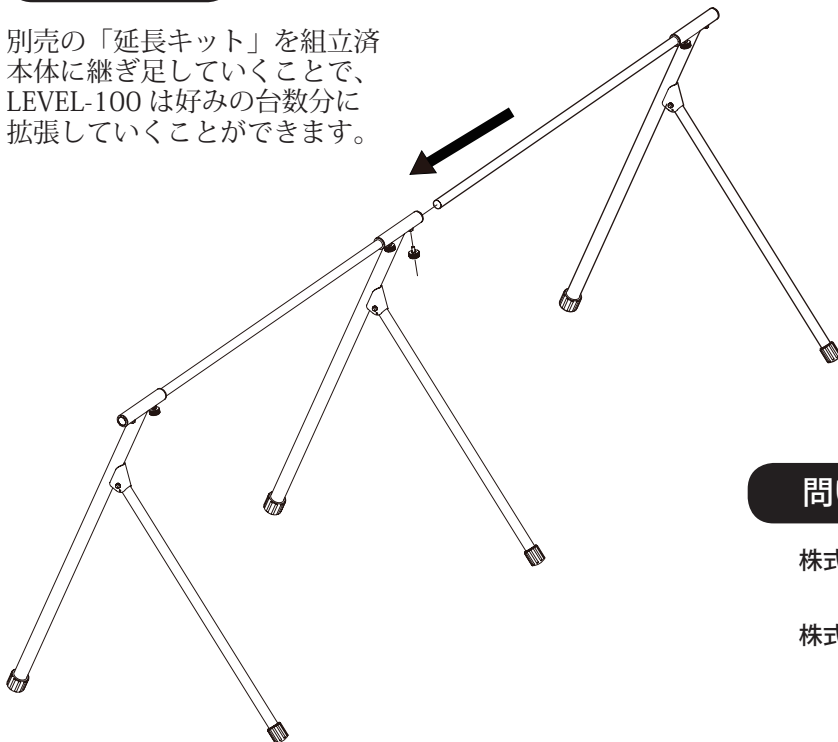
⚠ ノブボルトの先端がバーに当たるように、
バーをしっかりと挿入して接続します。



⚠ ノブボルトを斜めにねじ込んでしまわない
よう、注意してください。
万一ねじ込みが固くて行なえない場合は
無理にねじ込まず、タップを切り直します。

オプション

別売の「延長キット」を組立済
本体に継ぎ足していくことで、
LEVEL-100 は好みの台数分に
拡張していくことができます。



問い合わせ先

株式会社 箕浦 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1
Phone: (0584) 27-3131 Fax: (0584) 27-7505

株式会社 深谷産業 愛知県名古屋市中区大井町 1-37-3F
Phone: (052) 228-8910 Fax: (052) 228-8917

日本製